

3-3

災害対応力を育てる

災害による被害と避難行動を想定・試行する

(1) アクティブラーニング災害対応訓練：住之江区

三田村 宗樹

南港南中学校は平成30年4月に小中一貫校となる予定で、校区にある渚小学校・緑小学校が廃校となります。このため、災害時の避難所および対応拠点となるため、南港南地域の住民・小学校・中学校を含めた災害訓練が行われました。

表1に示すように、海の町・南港緑地域が合同で、地震発生とともに、身を守る行動を起こし、その後、住民・児童の一次避難、安全確認が行われました。その後、大津波警報が発令され、中学校3階、4階への垂直避難行動に移ります。垂直避難訓練のあと、参加者全員が中学校運動場に集合し、住居棟毎の町会単位で整列し・顔合わせが行われました。さらに、連合町会、防災リーダー、社会福祉協議会、民生委員、女性会が中心となって南港南中学校体育館を主とした施設での避難所開設訓練が実施され、避難所受付をはじめとする設営がなされました。

住居棟毎の町会単位での15班の集合のあと、用意された13テーマの体験学習(各テーマ約20分)を班ごとに、10:05~11:05の1時間で3テーマ体験する訓練を行いました。この中の3テーマについてCERDで企画したアクティブラーニング型災害対応訓練を実施しました。企画した3テーマは、「咲洲配水場からの飲料水搬送」「車いすでの高齢者搬送」「毛布担架での負傷者搬送」です。これらのテーマを実施するにあたって、事前の南港南地区での2回の防災ま

ち歩き(6月25日のコミュニティ防災教室でのCERD企画と10月9日の住之江区役所企画)をへて、この地区の連合町会関係者・南港南中学校との協議・調整を行い設定されたものです。

3つの詳しい訓練シナリオを表2に示します。災害対策本部から、中学生に対して支援要請があったとして、トランシーバーでの要請伝達のあと、各課題を中学生がこなしてゆくという設定になっています。体験学習を行う各班は、地域の住民・小学生・中学生の混成チームですので、中学生が課題をこなしている様子を小学生が見学し、地域住民はそれを見守り補助することで、災害時に必要な処置や行動を互いに学んでもらうねらいがあります。

「咲洲配水場からの飲料水搬送」ではポリタンクを持って行って、給水をうけ、学校まで搬送するというもので、水の重さを感じてもらうこと、咲洲配水場での緊急給水栓の施設を知ることを目指しています。「車いすでの高齢者搬送」では福祉的な配慮や車いすの扱い方、車いす搬送の困難さなどを理解します。「毛布担架での負傷者搬送」では、毛布担架の組み立て方と搬送時の手順などを学んでもらいます。今回の訓練では、3つのテーマをそれぞれ3~2班が体験しました。

このような体験メニューは、特殊な機材も必要なく、他の地域でも実施できる内容でもあります。地域の防

災リーダーや町内会の防災担当や防災士資格も持った方々を中心にして、実施できる訓練であると思われま。実施にあたっては、学校の外に出向いての

移動を伴いますので、交通面などの安全確保を十分にとっておく必要があります。

時刻	海の町・南港緑地域 (町会役員、防災リーダー 社協、民生委員、女性会等) 避難所開設訓練	南港南中学校(南中学)		地域住民	渚小学校・緑小学校	アスール幼稚園 グレース保育園	健康会しらなみ
		3年生 避難誘導支援 情報伝達訓練(緑の代表者)	1・2年生 避難誘導支援				
9:00	地震発生！ → その場で身を守る。頭を守る(机、テーブルの下に、身を低くして頭を、身体を守る)						
9:01	避難所の開設 施設の安全点検 地域本部 & 避難所運営委員会 開設準備	1次避難(クラスの安全を確認し、教室→運動場) 整列・点呼	家族の安全確認 ガス・電気オフし 一時集合場所へ 近隣の安否確認	1次避難 (クラスの安全を確認し 教室→運動場) 【地震・津波のお話】	園児の安全確認 施設の安全確認 (各園のマニュアル順守)	利用者の安全確認 施設の安全確認 (施設マニュアル順守)	
9:10	大津波警報発令！！						
	地域本部の避難誘導班は、中学生と合同し 各幼稚園・保育園(於：南中学正門前)と しらなみ(於：海の町福祉会館前) を避難誘導のため迎えに行く その他の本部員、運営委員会委員は 3階以上へ避難 5分程度避難待機後、開設現場へ戻り 開設準備を継続	地域本部の避難誘導班とともに 各幼稚園・保育園(於：南中学正門前)と しらなみ(於：海の町福祉会館前) を避難誘導のため迎えに行く 南中学に到着後、4階へ避難	近隣の安否確認 町会ごとに 南中学校へ避難	9:20 運動場に 整列・点呼 (棟ごとに) 9:30 南中学へ 移動開始 (棟ごとに)	9:10 南中学正門前集合 避難誘導班と 中学生と一緒に 南中学で無事避難 (各園のマニュアル順守)	9:10 海の町福祉会館前集合 避難誘導班と 中学生と一緒に 南中学に避難 (施設マニュアル順守)	
9:35	大津波警報解除！！						
	各地域本部及び避難所運営委員会へ集合 地域本部、避難所運営委員会設営完了	園児・施設利用者と 4階から運動場に降りる	町会ごとに 南中学へ移動し 受付登録				警報解除後、運動場へ 移動・集合
9:50	全員運動場に集合→棟ごとに整列(海1~7班、緑1~8班) 班編成し、顔合わせ						
10:00	開会式(あいさつ、訓練概要説明)						
10:05	ロールプレイ: 地域本部・避難所運営委員会 ○区役所からの指示(情報収集、報告) ○地域の被害状況把握○吹出訓練のみ ○けが人対応 ○搬送訓練 ○避難者へ情報提供	体験学習(班ごとの交代制、各20分×3体験) ◆煙ハウス・水消火器 ◆自衛隊実演 ◆浸水歩行訓練 ◆土のう	◆毛布担架 ◆可搬式ポンプ ◆AED講習 ◆非常持ち出し袋	○避難所見学 ◆給水車 ◆アクティブ・ラーニング 型災害訓練 ◆配水場から飲料水供給 ◆車いす搬送 ◆負傷者搬送			見学 適宜待機
11:05 終了 方付け	◆各棟の代表者(中学3年生)は、情報伝達訓練の一部のお手伝いをしてもらいます。						
11:15	閉会式(あいさつ、講評) 班ごとに整列						
11:30	地域参加者の皆様がアンケート記入後解散 棟ごとに集団下校で解散						

表1 南港南中学校校区を対象とした行動防災訓練の行程(住之江区役所)

訓練内容	災害時給水搬送訓練	高齢者車いす搬送訓練	負傷者搬送訓練
災害対策本部からの要請内容(トランシーバー等での要請伝達)	咲洲浄水場の給水栓の南港地区公園から飲料水をポリタンクに入れて中学校炊き出し区画に運んでください。給水栓到着後状況を報告してください。	海のまち社会福祉会館に いる高齢者(歩行困難者)を 車いすを使って南港南中 学校まで搬送してください。 到着後、高齢者の状況(高 齢者の年齢、男女別、健康 状態等)を報告してください。	南港近隣2号公園に負傷 者が1名いる模様。応急処 置のうえ南港南中学校に 搬送してください。 公園到着後、負傷者の状 況(男女別・年齢・負傷の状 況)を報告してください。
行程 (ヒアリングなどの報 告はトランシーバー等 で本部へ)	南港地区公園北西部の水 道局設置の給水栓へポリタ ンクを持って移動 咲洲浄水場での災害時の 飲料水確保の状況につい てヒアリングを行い、本部 へ報告 本部応答「中学校入り口到着 時に再度連絡ください」 ポリタンク10L、2個、20L、1 個に給水し、南港南中学校 に持ち帰る 中学校到着報告 本部応答「炊き出し区画に 水を搬入し、報告くださ い。」	海のまち社会福祉会館は 車いすを持って移動 高齢者の状況(高齢者の年 齢、男女別、健康状態等) のヒアリングを行い本部へ 報告 本部応答「中学校入り口到着 時に再度連絡ください」 車いすを南港南中学校へ 高齢者搬送 中学校到着報告 本部応答「高齢者用教室ま で移送し、報告ください。」	南港近隣2号公園に三角 巾・段ボール・毛布と物干し ざおをもって移動 負傷者の状況(男女別・年 齢・負傷の状況[足の骨 折])をヒアリングして、本部 へ報告 本部応答「骨折部分を添え 木で固定し、搬送をお願い します。中学校入り口到着 時に再度連絡ください」 骨折部分に添え木と三角 巾で固定を行う 簡易担架を作った負傷者 の搬送 中学校到着報告 本部応答「救護室(保健 室)まで移送し、報告くださ い。」
訓練必要品	10Lポリタンク 2個 20Lポリタンク 1個 トランシーバー1台	車いす(2台) トランシーバー1台	三角巾・タオル 4つ程度 段ボール1枚 毛布2枚・物干しざお2本 トランシーバー1台・台車1台
訓練時間	15-20分	15-20分	15-20分
	(本部)大市大2名 トランシーバー1台	大市大2名:訓練班に随行 写真撮影など記録 訓練内容確認・補足 水道局3名:給水栓箇所 待機後、非常時の 給水対応の説明 給水作業	大市大2名:訓練班に随行 写真撮影など記録 訓練内容確認・補足 相愛大学2名・ 住之江区社協1名: 訓練班に随行し、 高齢者介護方法・ 車いすなどの操作 サポート 防災リーダー:高齢者役 福祉会館待機、 車いすで搬送される

表2 CERD企画の災害対応訓練(3テーマ)のシナリオ